

平成28年度事業計画

事業活動方針

平成28年度は、定款第3条に定める本会の目的である「警備業務の実施の適正を確保し、警備業の健全な発展を図り、もって社会公共の安全に寄与すること」を実現するため、教育事業の計画的な推進をはじめ各種事業を積極的に展開するとともに、現在、警備業界が直面している諸問題に適切に対応し、生活安全産業を担う一般社団法人としての活動の一層の定着化及び業界全体の発展を図る。

1 活動項目

- (1) 警備業務の適正化に関する指導及び調査研究
- (2) 法令等の規定に基づく研修等の委託事業
- (3) 警備員及び警備員指導教育責任者等警備業務に従事し、又はしようとする者に対する教育訓練並びに研修
- (4) 警備業に関する功労者等に対する表彰
- (5) 警備業に関する相談及び苦情の処理
- (6) ホームページの運用、機関誌の発行その他広報啓発活動
- (7) 警備技術及び警備用資機材等に関する調査研究並びに警備用資機材等及び警備業務に係る教育関係図書を紹介・斡旋
- (8) 関係行政機関等の行う地域安全、交通安全、防災及び事故防止活動等に対する協力並びに支援活動
- (9) 地域防災計画等に基づく大規模災害発生時における協力及び支援活動
- (10) その他定款第3条の目的を達成するために必要な事業

2 事業計画

項	目	内	容
会議の開催	総 会	<u>定時総会 (6月)</u>	
	理 事 会	4回	
	専 門 委 員 会	随時	各専門委員会及び部会
	支 部 会	随時	各支部
	支 部 長 会	随時	

警備業務の適正化に関する指導及び調査研究	警備業務の適正化	警察担当係との連絡強化を図り、適正化に向けての指導、教示はもとより各種事業を通じ法令遵守気運の醸成、特に警備員教育等法定教育の充実のため、警備員教育センターの機能強化を図り、受講呼びかけを徹底するほか、安全パトロールを通じ検定合格警備員の <u>適切な配置の促進</u> を図る。
	委員会、部会及び支部活動の強化	各委員会、部会及び支部活動を通じ、警備業務の適正化に関する研修会の開催に取り組み、積極的参加を呼びかけるほか、青年部会活動の活発化により、業界発展と組織の活性化を目指す。
	経営者及び安全衛生管理者研修会の開催	「 <u>警備業経営者のための倫理要綱</u> 」に基づき警備業務の適正化及び企業モラルの高揚、労災事故の防止を図るため、経営者及び管理者の研修会等を開催する。
	社会保険加入問題及び <u>適正な警備料金確保</u> への取り組み強化	警備業界健全発展の基盤である労務単価及び社会保険加入問題への取組みを強化し、各種社会保険への加入、保険料の適正納付の促進を図るとともに自治体、関連団体への働きかけ及び連携、情報交換等による <u>適正な警備料金確保</u> のための環境づくりを積極的に推進する。
	労災事故等防止活動の充実	教育・労務・業務委員会及び各支部が中心となった安全パトロールを強化し、交通誘導現場における各種事故防止対策等の指導にあたる。 交通安全教育を一層強化し、交通事故防止活動の充実を図るとともに、労働安全衛生に関する啓発事業の一層の活性化による労災事故防止対策を推進する。
	調査協力	全警協、関係行政庁等が行う警備業務適正化のための各種調査研究に積極的に協力する。
法令等の規定に基づく研修等の委託事業	警備員指導教育責任者等の講習会及び研修会の開催	各講習（新規・追加・現任）、研修会を通じ、資格者の輩出及び知識、技能など、実務能力の向上と人材の育成強化に努める。
	特別講習の充実強化	検定合格者の配置基準見直しの動向を勘案しつつ、会員等の需要、要望を踏まえて特別講習実施回数の見直しと事前講習等の充実強化を図り、検定合格者の輩出に努める。 <u>また、円滑、適正な特別講習を実施するため、常時使用可能な講習会場の確保に努める。</u>

		<ul style="list-style-type: none"> ・雑踏警備業務<u>1級1回</u>、2級2回 ・施設警備業務1級1回、2級<u>5回</u> ・交通誘導警備業務2級6回 ・貴重品運搬警備業務2級1回
警備員及び警備員指導教育責任者等警備業務に従事し、又はしようとする者に対する教育訓練並びに研修	警備員集合教育センターにおける法定集合教育の充実強化	警備員集合教育センターの充実を図り、新任・現任教育受講促進のため積極的広報活動を行う他、現任警備員等に対する出張教育を積極的に推進するほか、警備員の知識・技能の一層の向上を図るための教育のあり方について検討する。
	機械警備業務管理者研修会等の開催	機械警備業務管理者としての実務能力を高めるため、管理者研修会及び資格取得のための講習会等を開催する。
	講師陣の強化・充実	講師陣の強化・充実を図るため、講師及び講師候補者を全警協の各種研修会等に参加させる。 教育技法研さんのため、自主的な研修会の開催に努める。
	警備業に関する各種講習会への講師派遣	警備員指導教育責任者講習、特別講習、直接検定、部外講習に講師等を派遣し、良質な教育の普及促進を図る。
警備業に関する功労者等に対する表彰	警備業功労者に対する表彰上申	多年にわたり警備業の健全な発展を図り、社会公共の安全の確保に功労のあった者及び団体について、愛知県警察本部長と協会長連名の表彰を行うほか、特に著しい功労があった者については、警察庁長官、全国警備業協会会長連名の表彰及び全警協会長表彰を上申する。
	警備員に対する表彰	警備業務遂行中、人命救助、事故の未然防止、重要犯人の逮捕等に顕著な功績があり、他の模範となる警備員等に対して随時表彰を行う。 勤務成績が優秀で、永年勤続した警備員を定時総会において表彰する。
	部外者に対する表彰	協会の運営に対し、多大な協力のあった部外関係者を定時総会において表彰する。
警備業に関する相談及び苦情の処理	相談及び苦情の適正な処理	警備業務の適正化を確保し、健全な発展を期すために、業務に関する相談及び苦情を的確に把握するとともに、原因の究明や改善措置等に関し、関係者等との連携を図る。
ホームページの運用、機関誌の発行その他広報啓発活動	協会、業界の理解を深める広報啓発	協会活動や警備業界に対する理解を一層深めるため、協会ホームページ、機関誌等の各種広報媒体を活用して「 <u>警備の日(11月1日)</u> 」の周知など積極的な広報活動を推進する。

	機関誌・広報紙の発行	各種情報の伝達及び会員相互のコミュニケーションを深めるため、協会機関誌「セキュリティ・アイチ」を定期的に発行する。また、必要な情報を必要な時に会員へ提供するため、「愛警協だより」を随時発行する。
	ホームページの更新と広報	指導教育責任者、特別講習の開催案内等、協会ホームページの内容の充実と更新に努める。また、会員専用ページを有効に活用して、情報の伝達、共有の促進を図る。
警備技術等に関する調査研究及び警備用資機材、教育関係図書等の紹介・斡旋	各種出版物及び警備用資機材等の紹介・斡旋	警備業務に関して必要な各種の出版物及び警備業務用装備資機材等の紹介・斡旋に努め、業界のレベルアップに寄与する。
関係行政機関等の行う地域安全、交通安全、防災及び事故防止活動等に対する協力並びに支援活動	<u>犯罪防止等の社会貢献活動の実施</u> 及び諸行事等への参加協力	<u>犯罪及び交通事故の防止を図るための社会貢献活動を積極的に実施する</u> ほか、警察機関等が行う防犯、交通安全運動及び消防機関が行う火災予防運動、労働機関が行う労災事故防止運動、その他関係行政庁の実施する各種行事へ積極的に参加協力する。
	暴力団等反社会的勢力排除活動の強化	暴力追放愛知県民会議及び警察本部暴力団対策室等と連携し、愛知県警備業暴力団等反社会的勢力排除対策協議会による暴排活動を強化する。
	連絡・連携の強化	関係行政庁との連絡・連携を強化し、効果的な活動に努める。
地域防災計画等に基づく大規模災害発生時における協力及び支援活動	<u>「災害対策基本計画」に基づく、大規模災害発生時における迅速的確な対応への諸対策の推進</u>	災害時における交通の確保等の業務に関する協定及び災害広域支援協定等に基づき、支援体制及び装備資器材の充実強化と教育訓練を随時実施するほか、愛知県及び愛知県警が行う総合防災訓練等への参加など、警備員の実戦的な能力アップに努める。また、非常用飲食料品等の備蓄、整備を計画的に推進する。
	警備員出動要請伝達訓練等の実施	1月17日の「防災とボランティアの日」にちなみ、協会独自の計画による警備員出動要請伝達訓練及び被災状況通報訓練等を実施し、協会・支部との連絡、連携及び部隊編成の練度を高めるとともに会員の防災意識の高揚を図る。

本会の目的を達成するために必要なその他の事業	<u>協会法人化 30周年記念行事の推進</u>	<u>本年度は、当協会が公益法人としての認定を受けた昭和61年から30周年の節目を迎えることから、警備業界の認知度の一層の向上と業界全体の継続的な発展を図るため、記念式典の開催など年間を通じて諸施策を推進する。</u>
	個人情報の適正な取扱い	認定個人情報保護団体として認定された全国警備業協会と連携し、個人情報の適正な取扱いを図る。
	協会への加入促進と認定証更新案内の実施	協会未加入の警備業者に対し、積極的に入会を勧誘し組織の拡大強化に努める。また、協会加入会社に対し、認定証更新時期の通知(案内)業務を推進する。
	愛知県証紙及び諸用紙等の販売・斡旋	各種申請・届出に必要な愛知県証紙及び諸用紙等を斡旋、販売する。
	中部地区各県警備業協会との連携	中部地区警備業協会連合会の会長会議等を通じて、各県協会との連携に努めるとともに、地区センター協会として、全警協との連絡調整にあたる。
	事務局体制の強化	業務の増大に対応し、会員サービスの向上を図るため、OA機器等を活用するとともに、事務局の体制強化等に努める。
	慶弔・傷病に対する表意	会員等において慶弔・傷病事案があったときは、基準等に従い慶弔の表意及び見舞いを行う。
	各種親睦行事の実施	会員相互等の親睦を図るため、新年交礼会、クラブ活動等の各種親睦行事を実施する。